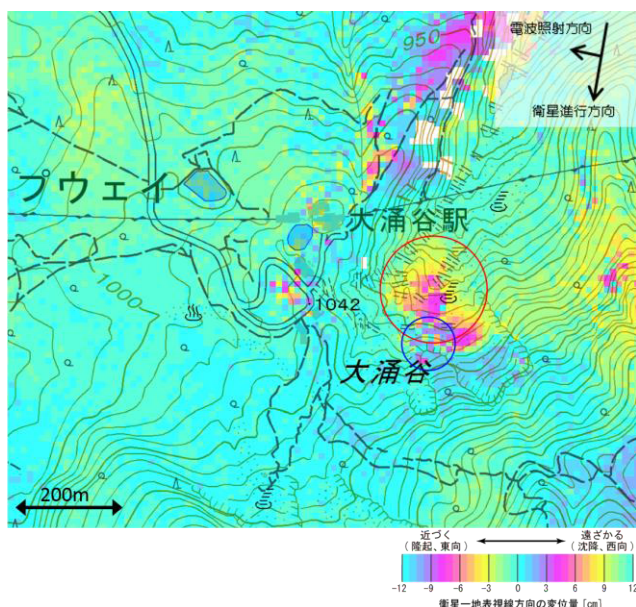


平成27年7月8日  
国土地理院

## 「だいち2号」観測データの解析 による箱根山の大涌谷周辺における地殻変動

5月上旬以降、大涌谷内の狭い範囲で、衛星に近づく地殻変動が継続しています。また、6月下旬に発生した噴火の影響により、地表の状態が変化したと考えられる範囲が見られます。

### 【噴火を挟む期間の解析結果】



### 観測条件

衛星進行方向：南行  
電波照射方向：右  
入射角：43°

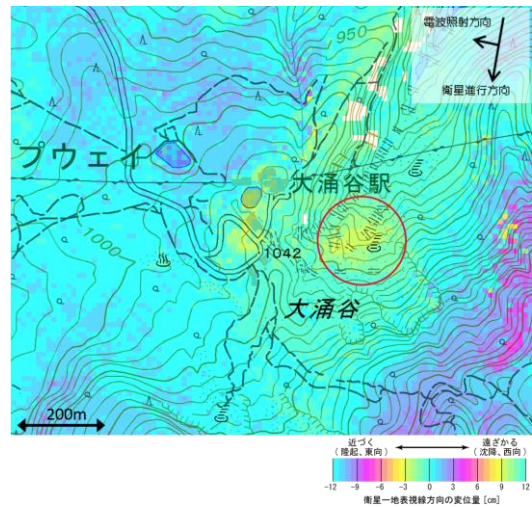
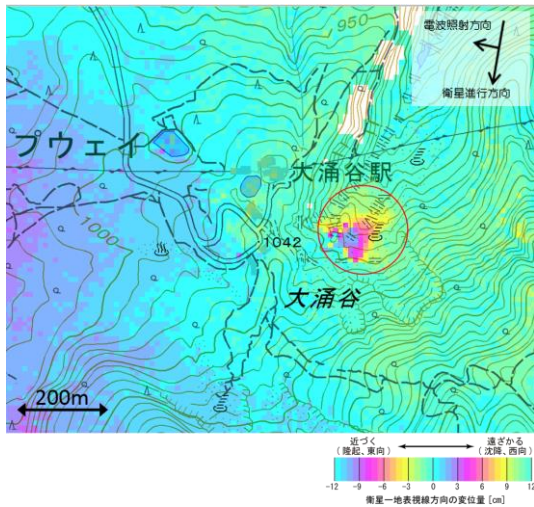
2015年6月18日～2015年7月2日

### ＜2015年6月18日～2015年7月2日の解析結果からわかること＞

- ・これまでの変動の範囲（赤枠）の南端で、直径100m程度の非干渉の範囲<sup>※1</sup>（青枠）が見られます。この範囲では何らかの原因で地表の状態が変化したと考えられ、噴気孔の形成と噴出物の堆積の可能性があります。
- ・これまでの変動の範囲（赤枠）の南東側にも変動が見られます。上記の非干渉の範囲を除くと、地殻変動は最大7cm程度<sup>※2</sup>です。
- ・なお、これまでの変動の範囲（赤枠）では、6月18日から7月2日までの2週間で最大7cm程度<sup>※2</sup>の衛星に近づく地殻変動が見られます。地殻変動は、観測条件が同じ6月4日から6月18日までの最大3cm程度<sup>※2</sup>から最大7cm程度となりました。

今回の結果は速報値であり、今後より詳細な分析等により、結果が更新される場合があります。国土地理院では今後も継続的に地殻変動を監視していきます。

### 【噴火前の期間の解析結果】



2015年5月21日～2015年6月4日

2015年6月4日～2015年6月18日

#### <解析結果からわかること>

- ・これまでの解析結果と比べ、変動の範囲と分布に大きな変化は見られません。
- ・5月21日から6月4日の間（2週間）では最大10cm程度<sup>※2</sup>、6月4日から6月18日の間（2週間）では最大3cm程度<sup>※2</sup>の衛星に近づく地殻変動が見られます。

※1 SAR干渉画像では、砂をまいたようにざらざらした模様になっている場所を非干渉の範囲といい、この範囲では地殻変動の大きさはわかりません。

※2 干渉SARの精度は一般的には数cm程度とされています。また、衛星の観測条件が異なる場合は、同じ地殻変動であっても解析結果の見え方や数値に違いが生じます。

なお、これらの解析結果は国土地理院「大涌谷周辺（箱根山）の火山活動に関する情報」ページで公開しています。

(<http://www.gsi.go.jp/kikakuchousei/bousaichousei/h27-hakoneyama-index.html>)